

団長の独り言

9月13日(日)「反省と感動」

先日、先日、京都に行った時、久々にタクシーに乗った。

実はこの私、人生において数えるほどしかタクシーには乗った事がない。

必要に迫られないってのもあるけれど、「タクシー＝贅沢」って思って、少年時代から生きてきたので、それが身につけてしまっているからかもしれない。

そんな私が十数年ぶりのタクシー乗車。

京都駅に着き八条口から出たら、すぐにタクシー乗り場があったので、一番先頭にいたプリウスの個人タクシーに乗り込むが、このコロナ禍の中、「東京から来たってのを悟られると嫌な顔されなかなかな?」「地元の人じゃないと分かる」と遠回りされないかな?」とか・・・タクシーに乗り慣れないがゆえ、色々不安がまとわりつく私。

おまけに「舐められちゃーいかん!」という見栄っ張り根性も顔を出し、ここは一丁、あえてコテコテの関西弁で「すんまへーん、〇〇まで行ってもらえませんか」と行先を告げるが・・・普段の私ときたら、プライベートで大阪弁で話をする時は、「すんまへん」も「もらえ

まっかー」は、まず使わないし、それどころか大阪にいた頃ですら、「すんまへん」や「〇〇でつかあー」なんて言葉は使わなかった気がする。

でも乗務員さんに「この人関西の人やな」って思ってもらうために、必死で「関西人を演じる」大阪出身の私。

イントネーションは間違っちゃーいないだろうけれど、どうかかな?相手は百戦錬磨の個人タクシーだしな・・・私の臭い芝居はばれていたかもなあ・・・。

そういえばタクシーに乗る前、ちよいと現金も下ろしておこうと思って、八ツ橋屋の店員さんに、「ATM」の場所を尋ねたのだが、その時も東京から来たってのを悟られないために、「すんませえん、ATMはどこにありますう?」と関西イントネーションで尋ねた。

ただ・・・東京からの乗降客もボチボチ増えただろうから、そこまで気にしなくてもいいのに、私はそーゆうところで、変な気を使うから疲れてしまうのだ。

それでも店員さんは、「そのユニクロさんの角を曲がったとこにございますよお」って、すごくいい笑顔で教えてくれたので、とっても癒された。

それにしても、「ユニクロ」にも「さん」を付けるというところなど、さすが京都やなあーと感心する。

ほら京都って色々なものに「さん」を付けるよね?「八坂さん」(八坂神社)「おはようさん」「お月さん」「お豆さん」「お稲荷さん」等々・・・

そんな事を意識するってのも、それだけ私も東京暮らしがすっかり長くなったって事かあ・・・。

で、タクシーに話を戻すけれど、目的地に着き料金940円だったので、1040円出して1000円のお釣りを貰おうと、千円札1枚と、小銭40円を支払おうとしたら、小銭は10円玉が3枚しかなくて、あとは5円が2枚・・・仕方ないので10円玉3枚と5円玉2枚で小銭を支払うと、乗務員さんは、100円のお釣銭と私が出した5円玉2枚をぶっきらぼうに返してくれた。

おそらく5円玉はタクシーのお釣銭としては利用しないからなんだろう・・・。私はコンビニで買い物する時、いつもこういう支払いの仕方をするので、タクシーの支払いでも、つい馴染んだ支払い方をしてしまったのだが、あの場合、1000円出して「釣りはいいです」って言っ

たほうがカッコイイ大人だし、スマートだったと反省。

「舐められないように」と気合入れてタクシーに乗ったのに、結果として、「セコイヤっちゃなー」って思われたに違いない。

まあーいい勉強になりました。今度、タクシーに乗った暁には、940円の支払いに1万円札を出して、「釣りはいらねーぜえ。」と言えるような大きい人間にならねば!(えーちなみに帰りは、ちよーと京都駅行きの路線バスが来たので、それに飛び乗りました。)

そんな事よりも、昨日は某中学校演劇部へ、劇団メンバー数名と共に伺った。コロナの影響で、部活もずーっと中止になっていたけれど、8月から活動が再開されたので、「また指導を!」とのご依頼を受けたので、中学生のみんなに会いに行ったら、10数名の1年生の新入部員が入部して大所帯となっていた。

5年前、我々が初めて伺った時は、演劇部廃部の危機が迫っていたけれど、よくぞここまで盛り返したものだ。

みんな今年は、運動会も修学旅行も学習発表会も合同連合発表会も全て中止になったのだが、そんな中でも「芝居がし

たい」と多くの生徒が演劇部に集まった
というのは素晴らしい事だよねえ。

私達は、そんなみんなに「お芝居の楽し
さ」を伝えるべく、マスク姿でソーシャ
ルディスタンスを保ちながらではある
けれど生徒達と共に汗を流した。

1年生の時から活躍していて、今や3年
生になった現部長のK君、Oさん、K君、
H君は上級生としてすっかり貫禄がつ
き、とても頼もしかったし、1年生2年
生もさすが演劇部の門を叩いただけあ
って、もじもじしていても、いざ演じる
となると、素晴らしく堂々としていてキ
ラキラと輝いていた。

あまりにもみんなが一生懸命なので、2
時間という時間はあっという間に過ぎ、
最後に一人ずつ、感想を発表してもら
うと、私達の不甲斐ない指導にも拘わらず、
とっても充実して、とっても楽しんでく
れたという事が伝わる素晴らしい感想
を、しっかりとした口調で、しかも簡潔
に答えてくれたのには感動したなあ。
みんなから、今回も元気をたくさんもら
いました。

10月にまたお邪魔するので、その時は
またよろしく願いますね！